

令和3年度決算

公営企業の資金不足比率の状況

(単位: %、千円)

公営企業会計名称	令和3年度		令和2年度	
	資金不足比率	資金不足額	資金不足比率	資金不足額
水道事業会計	-	△1,099,892	-	△1,232,149
下水道事業会計	-	△307,702	-	△147,070
病院事業会計	2.2	141,908	8.6	522,915
市民太陽光発電所事業特別会計	-	△17,059	-	△17,977
工業用地造成事業特別会計	-	△27,143	-	△28,644
宅地造成事業特別会計	-	△45,491	-	△45,589

※資金不足額については、黒字の場合は負数で表示されます。

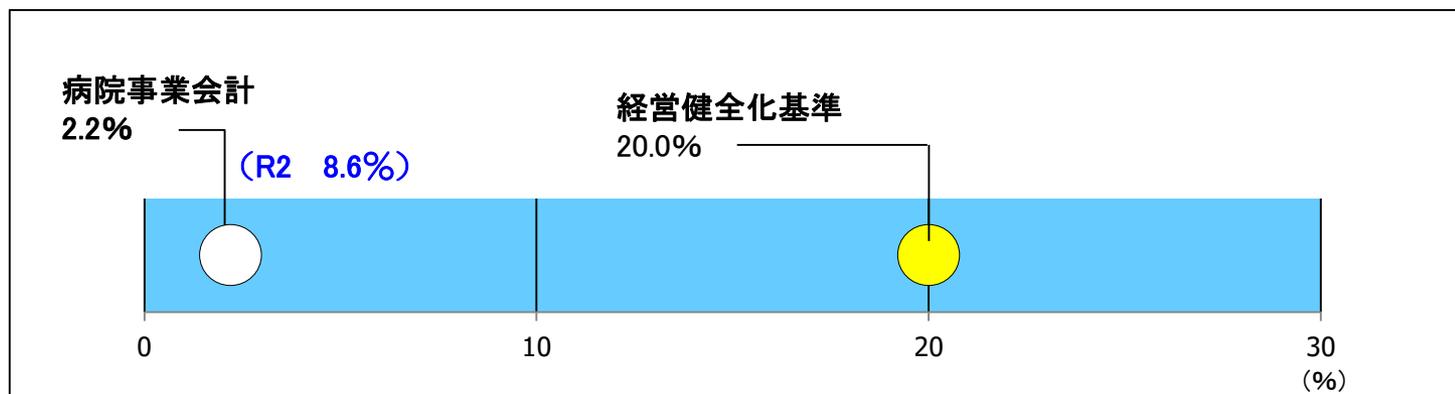
経営健全化基準

20.0

資金不足比率

病院事業会計のみ該当
その他5会計は非該当

- 公営企業の料金収入の規模に対する資金不足額の程度を示します。数値が大きいほど経営状況が深刻化していることを表します。
- 令和3年度は病院事業会計において1億4,190万8千円の資金不足が発生し、資金不足比率は2.2%となりました。主な要因としては、医師不足及び新型コロナウイルス感染症に伴う受診控えによる営業収益の低迷が挙げられます。
- 病院事業会計以外の5公営企業会計では、資金不足は生じていません。



$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$